

河野 毅氏（UNDP 特別顧問）による「特別国際セミナー」を開催

博士課程教育リーディングプログラム「京都大学大学院思修館」は、国連開発計画（UNDP）の対外関係・アドボカシー局特別顧問の河野 毅氏をお招きし、10月28日（月）に合宿型研修施設「廣志房」のラウンジにおいて「国連で働くこと－UNDP を事例に」と題する特別国際セミナーを開催しました。



河野特別顧問は講演で、UNDP の活動紹介、UNDP のグローバルネットワーク（177 カ国で活動中）を利用したポスト 2015 開発アジェンダの策定過程の説明、UNDP を例にした国連職員の勤務環境と就職ア

ドバイスの説明等多岐に亘ってお話しして頂きました。

UNDP は、各国政府、政府系開発援助機関、民間セクター、市民社会、教育・研究機関等と連携しながら、世界の開発課題解決に取り組んでおり、総合生存学館（思修館）が目指す「グローバル課題」の解決にどのようにアプローチしていくのかを考えるうえで大変貴重な機会となりました。



また、ダイナミックな河野特別顧問のお人柄もあり会場が一体化するとともに、講演後の質疑応答時においても非常に活発な意見交換が繰り広げられ、大変に有意義なセミナーとなりました。

